

エコたび栃木

取組のしおり

修学旅行

基本の取組

- 1 歯ブラシ・はみがき粉の持参
 - ・宿泊施設の使い捨て備品を使わない
 - ・ごみごみを削減できます。
- 2 マイバッグ・ボトル(水筒)の持参
 - ・水筒を使うと飲料容器のごみを削減できます。
- 3 食べきり・食べ残しゼロ
 - ・「いただきます」の際に、「残さず食べましょうー」と声をかけると食べ残しを減らすことができます。

エコたびチャレンジ

右に記載した基本の取組以外に、学校(クラス単位で異なる取組でも可)単位の独自の取組を考え、実践してみましょ。

エコたびチャレンジ取組内容

<私の取組>

「エコたび」では、私たち一人ひとりの行動が大切です。旅行の前に「目標」を設定し、具体的な「取組」を書いてみよう。旅行後に自分の取組をふりかえろう！

目標	取組	ふりかえり
----	----	-------

食品ロスについて

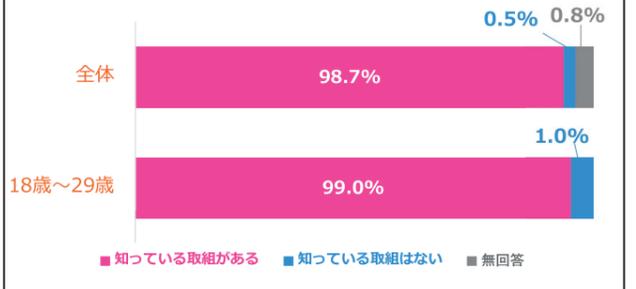


○なぜ、食品ロスが問題になっているの？
 大量の食品が無駄に廃棄され、環境への悪影響も考えられるからです。

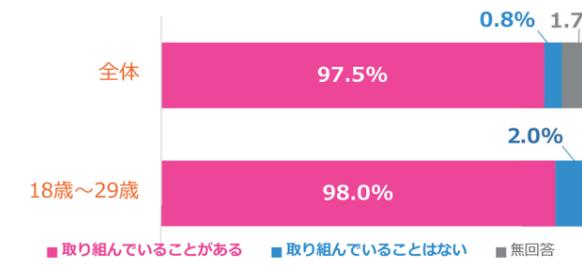


【内訳】 家庭系食品ロス 244万トン
 事業系食品ロス 279万トン

○食品ロス削減取組の認知度について
 知っている食品ロス削減のための取組はありますか？(2022年度県政世論調査結果)



○食品ロス削減取組のためにやっていること
 食品ロス削減のためにやっている取組はありますか？(2022年度県政世論調査結果)



○食品ロスを減らすためにできることは？
 栃木県では、「とちキャラーズの3きり運動」を進めています。

- 料理はおいしく。「食べきり！」
- 食材はムダなく。「使いきり！」
- 生ゴミはギュッと。「水きり！」

海洋プラスチックごみ問題 (身近なごみの問題)

私たちにできること



家にあるモノを使えば、レジ袋だけでなく、スプーンなどももらわなくていいね。



マイバッグ、マイボトル、詰替品を利用することでごみを減らせるよ。



紫外線や波のチカラで碎けて、マイクロプラスチックになることも。



本当に必要かどうか考えて、なくてもいいモノはもらわない、増やさない。



リサイクルできるように、きちんと分別することも大事だね。



海のごみの約7割は、私たちが生活する街から川を通じて流れ込むんだ。



身の回りを見渡すと、色々なところでプラスチックが使われているね。



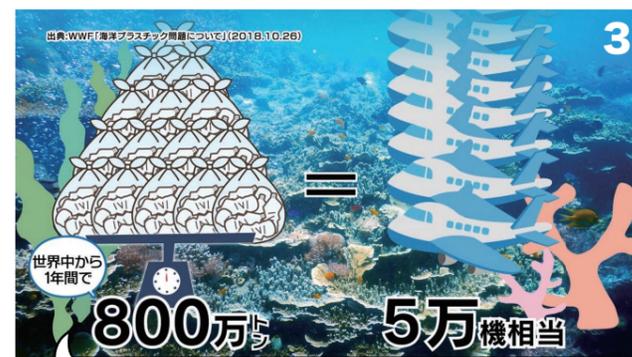
モノを捨てる時には、リサイクルしやすいようにしっかり分別しよう。



ポイ捨ては絶対にダメ！最近ではマスクのポイ捨てが多くなっているよ。



そのため、県と市町は、プラスチックごみをゼロにすることに向けて行動することを宣言したよ。



世界全体では、一年間で海に流れるプラスチックごみは800万トン。



このマンガが動くよ！



<https://youtu.be/UQXcqIGyVTQ>



リデュース、リユース、リサイクルのほかに、プラス3Rもあるよ。



「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」の活動として、プラス3Rにみんなで取り組もう。



海にプラスチックごみの重さと海にいる魚の重さが同じになってしまうよ。